

iOS 10 搭載デバイスにて Cyclops シリーズを使用する際のご注意

謹啓

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
iOS 10 搭載デバイスにて、Cyclops シリーズを使用した場合に確認されている現象と、その対応方法について、下記のとおりご案内申し上げます。

謹白

記

1. 対象製品

Cyclops ALFARK-5000X
Cyclops2 ALFARK-5200X

2. 確認されている現象

対象製品を iOS 10 搭載デバイスでご利用いただいた場合に、特定条件下において以下の 4 つの現象が発生致します。

現象 1 読み取ったデータの一部または全部が画面に表示された直後に消えてしまう。
発生条件 iOS 10 でキーボードの設定が「English(US)」以外に設定されている場合に発生致します。
iOS 9 では、「English(US)」に設定することで回避いただけます。

現象 2 Web ブラウザの入力エリアにおいて、キー入力モードを問わずデータが桁落ちする場合があります。
発生条件 iOS 10 で Safari、及び他社の Web ブラウザ (Google Chrome や Mercury など) をご利用の場合に発生致します。
iOS 9 では、Google Chrome などの Safari 以外のブラウザをお使いいただくことで回避いただけます。

現象 3 キー入力モードを問わず、スキャンしたデータの途中で改行が入る場合があります。
発生条件 iOS 10 のメモ帳や Web ブラウザをご利用の場合に発生致します。
iOS 9 以前ではこの現象は発生致しません。

現象 4 キー入力モードを問わず、稀に iOS 10 のメモ帳がフリーズする場合があります。
発生条件 iOS 10 のメモ帳で発生致します。
iOS 9 以前ではこの現象は発生致しません。

3. 各現象の対応について

iOS10 にて使用した場合、前述のとおり、iOS9 とは異なる動作となることが確認されました。
つきましては、現在の iOS のバージョンにて、安定してお使いいただいている環境におかれましては、恐れ入りますが、iOS10 へのアップデートを控えていただきますようお願い申し上げます。

既に iOS10 にアップデート済みの環境におかれましては、キャラクタ間ディレイ (文字間待ち時間) の設定を初期値の「無し」から「30ms」に変更してご使用いただくことで、現象を回避することが可能です。
ただし、ご利用の環境によっては、稀に回避できない場合があります、必要に応じて「40ms 以上」に設定を調整いただく必要がございますが、2016年10月11日までにご購入いただいた「Cyclops ALFARK-5000X」

につきましては、最大設定が「30ms」となっておりますのでご注意ください。

尚、設定につきましては、下記の設定バーコードを読み取らせることで設定可能です。

ご不明な点がございましたら、サポート窓口(TEL:050-3733-0692)、または担当営業までご相談ください。

4. キャラクタ間ディレイ(文字間待ち時間)設定バーコード

キャラクタ間ディレイ設定バーコードは以下のバーコードから一つを読み取らせてください。

初期値は「無し」に設定されております。

機能	状態	バーコード	コード
キャラクタ間のディレイ時間	無し		A024A0
	10ms		A024A1
	20ms		A024A2
	30ms		A024A3
	40ms		A024A4
	50ms		A024A5
	60ms		A024A6
	70ms		A024A7
	80ms		A024A8
	90ms		A024A9
	100ms		A024AA

以上